

新規受託項目のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

敬具

(記)

【受託項目名】: 百日咳菌核酸検出/LAMP

【受託開始日】: 平成29年2月20日(月)受付分より

【受託要領】:

項目名称	百日咳菌核酸検出/LAMP
項目コード	4978
検査容器	V-B ・ フロックスワブ
検体量・保存	後鼻腔ぬぐい液 ・ 凍結
検査方法	LAMP法
基準値	(-)
報告単位	なし
報告範囲	(-)または(+)
所要日数	3~5日
実施料/判断料	360点/微生物学的検査(150点)
備考	後鼻腔ぬぐい液は、フロックスワブ(V-B)にて採取したのち、速やかに付属のチューブに入れて、冷蔵保存してください。(弊社にて凍結いたします。)採取前のスワブ取出時やチューブ内挿入時には、スワブ先端部が汚染しないようにご注意ください。 他の検査項目との共用依頼はできませんので、ご注意ください。

※ 裏面に続きます。

【検査概要】:

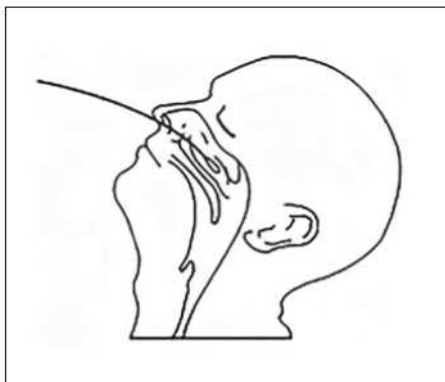
百日咳は、グラム陰性桿菌の百日咳菌(*Bordetella pertussis*)の気道感染による急性呼吸器感染症です。百日咳はワクチン未接種の乳幼児が罹患した場合には重症化しやすく、ことに新生児、乳児では生命に危険が及ぶことも稀ではありません。本症はかつて、乳幼児を中心に夏季に流行する疾患でしたが、近年の国立感染症研究所の報告によると、成人層の割合が年々高くなってきており、2010年には半数以上を占めるに至って、小児への感染源としても危惧されています。なお、19歳以下で最も多数を占めているのは0歳児です。

百日咳は、アデノウイルス、マイコプラズマ、クラミジアなどの感染症と同様の発作性の咳を示すため、鑑別診断が必要です。

これまで百日咳の診断には、細菌学的検査(培養法)や血清学的検査(抗体測定)が用いられてきましたが、感度・特異度・迅速性の面で十分ではありませんでした。

本検査は、百日咳菌の遺伝子をLAMP(Loop-mediated Isothermal Amplification)法で検出するもので、感度と特異度が高いうえ、迅速に結果を得ることができ、他の呼吸器疾患との鑑別および百日咳の早期診断に有用です。

● 採取方法



後鼻腔ぬぐい液は片方の鼻孔内を、フロックスワブで採取してください。採取したスワブは速やかに付属のチューブに入れ、凍結保存してご提出ください。



貯蔵方法：室温
有効期限：1年

【検査方法の参考文献】

Kamachi, K. et al.: J. Clin. Microbiol. 44, 1899-1902, 2006.